

製品名: L型 Ca++ CP γ 1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab13479

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	CACNG1
別名	CACNG1; CACNLG; Voltage-dependent calcium channel gamma-1 subunit; Dihydropyridine-sensitive L-type; skeletal muscle calcium channel subunit gamma
遺伝子 ID	786.0
SwissProt ID	Q06432
免疫原	抗血清はヒト CACNG1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 137-186

背景

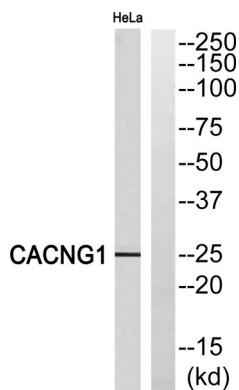
カルシウム電位依存性チャネル補助サブユニットガンマ 1 (CACNG1) ホモサピエンス電位依存性カルシウムチャネルは 5 つのサブ

ユニットから構成される。この遺伝子によってコードされるタンパク質はこれらのサブユニットの1つであるガンマを表し、2つ知られているガンマサブユニットタンパク質の1つである。この特定のガンマサブユニットは骨格筋 1,4-ジヒドロピリジン感受性カルシウムチャンネルの一部であり、興奮収縮連関において役割を果たす膜貫通タンパク質である。この遺伝子は PMP-22/EMP/MP20 ファミリーの機能的に多様な 8 メンバータンパク質サブファミリーの一部であり、膜貫通 AMPA 受容体調節タンパク質 (TARP) として機能する 2 つのファミリーメンバーとともにクラスター内に位置する。[RefSeq 提供、2010 年 12 月]、機能: このタンパク質はジヒドロピリジン (DHP) 感受性カルシウムチャンネルのサブユニットである。興奮収縮連関において役割を果たす。骨格筋 DHP 感受性 Ca(2+)チャンネルは、複数のサブユニット複合体としてのみ機能する可能性がある。類似性: PMP-22/EMP/MP20 ファミリーに属する。CACNG サブファミリー。サブユニット: L 型カルシウムチャンネルは、 $\alpha 1$ 、 $\alpha 2/\delta$ 、 β 、 γ の 5 つのサブユニットから構成される。組織特異性: 骨格筋。

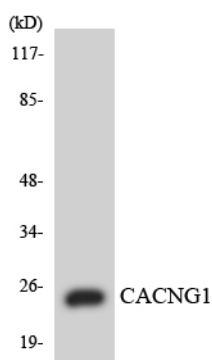
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;心筋収縮;肥大型心筋症 (HCM);不整脈性右室心筋症 (ARVC);拡張型心筋症;

画像データ



CACNG1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは CACNG1 ペプチドでブロッキングされている。



CACNG1 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。